

## アンケートでお尋ねした質問の回答・意見（第1回）

### 1. 原子力災害（放射能汚染）に対する意見

- 賛成反対の選択がクローズアップされているが、今のところ電気を使わない生活はできないから、災害時の対策を考えるべきではないか。
- 放射能漏れがないように管理して欲しい。
- 今は考えられないような事がいろいろな所で起っています。目先の事だけでなく、これからずーと先の事も考えて原子力他に替わるものがないかと思えます。
- 今後の事ですが、原子力はトイレのないマンションと言われていますが、これからの始末すらできないことには反対です。
- できる限りの節電をこころがけ、原子力に依存しないようになりたいです。
- 原子力反対。
- 原子力災害は今後絶対にあってはならない。
- 原子力発電をやめてほしい。
- 原子力発電についてはその事故によって多くの生活が破壊されるので反対しています。
- こわい。いずれ原子力発電がなくなって欲しい。
- できれば廃炉にして欲しい。
- 愛媛には原発があるので不安です。頻回なストレステストをお願いします。
- （原子力災害は）絶対にあってはならない事。国は災害時にどれだけの責任が持てるのか？福島の例を見ていると不安でならない。人にも動物にも責任を持って欲しい。
- やはり原子力発電はやめるべきであると思えます。
- 原子力全体に反対。
- 理想と現実にギャップがありすぎて戸惑う。
- データーを見て放射能や広島長崎の被爆者を対象とした医師の意見を普段から集めているので、とくに質問はありません。
- 被災地の動物の映像をみると心が痛い。原子力が腹立たしい。
- 原子力関係者や政治家は自分の身内が災害にあった事を考えて物事を考えて決めて欲しい。他人事ではないはずです。
- 今後の新規原子力発電は中止。
- 東北の様な悲惨な事態が二度と起らないためにも原子力は絶対反対です。
- できれば代替設備に替えて欲しい。
- 全く知識がないので・・・、今のうちに避難訓練など地域や市全体でシュミレーションできたらいいのかな。
- 難しい問題ですが、他人事と思わず、色々と協力したい、協力できない人は勝手だと思えます。
- （放射線は）目に見えないので不安があります。
- （放射線は）目に見えないだけに恐ろしいので、子供達にもよくわかるものを作って欲しい。

- どういう影響があるのか不安です。
- (放射線の人体への影響を表す) シーベルト単位が不明。見えない。日々みえる方法の推進。
- 緊急時や時間外での対応について、ちょっとした疑問(ささいな心配事など)をすぐに、簡単かつ気軽に聞ける方法が欲しい。
- ひとたび起れば、もう逃げようも逃げる場もなく、まして、安全基準などあるはずもなく、人間以上に小さな生き物達への影響は大きくただただ原発の廃炉を願います。
- 放射能は怖いけど、電気も必要なので難しい問題だと思います。
- 原子力の必要性を今ひとつ考えられない。
- 安全性を重視して欲しい。
- 放射能の恐ろしさをもっと広く伝えて原発は廃止するべき。
- どんなに安全と言われても今回の大地震が他の県などで起きた場合、原発は必ず放射能汚染を繰り返すと思う。絶対にやめるべきです。
- 大変な災害で言葉では表せないです。
- ペットフードに汚染された原料が使われていないか心配です。
- 人間の食には神経質ですが、ペットも食べ物や飲み物など心配です。
- 人と比べてどのくらいの量で被ばくし、どの様な影響が表れるか。
- 特に放射線濃度が高い地域にて外で飼われている動物に対して、どんな対策をいざとなった時にしたらいいか教えて頂きたいです。賃貸家屋に入れられない動物など。

## 2. 自然および原子力災害時の伴侶動物を伴う避難に関して

- (伴侶動物と)一緒に避難したい。
- 自然災害が起きた場合にも猫と一緒にいて避難する事は考えてなく、何があろうとも一緒にいるつもりでいる。自宅から離れる事は考えず、自宅にいて家族として過ごすつもり。ペットと生活している者はその覚悟は必要と考えている。
- 犬も猫も飼っているのは家族の一員と考えているので、何かあっても一緒にいて大事にしたいと思う。
- 人的災害において動物が犠牲になるのは悲しいことと思う。
- 情報公開が遅すぎる。福島のように急に立ち入り禁止にされると動物を迎えに行くことすらできない。
- 緊急時を思うと伴侶動物を室内飼いにすべきかと悩みます。ケージに入れるまでが、けっこう大変で、犬のように首輪、ヒモ、網状の袋・・・とか、考えていますが。
- 大型犬なので避難が困難。
- 猫が11匹いるために緊急に移動する事が困難だと思われます。(部屋の中で外に出さないの)

### 3. 避難後のシェルターでの保護環境などに関して

- 一緒に避難した場合でも、鳴く犬や他の犬にほえる犬もいます。その場合、周りの人の迷惑にもならないようにするには、どのようにしたらよいのか対策があるといいです。
- 家庭では調教できていたとしても、環境がまったく変わった状態で、犬がどのように変わるか心配です。
- 非常持ち出しとして何を準備しておけばいいですか
- 福島のようにペットや家畜が取り残され、餓死したりすることがないように、災害時のペット同伴避難のマニュアルをしっかりと構築して欲しい。
- 2匹の猫のうち1匹がデリケートです。救護上、不慣れな環境に対応できるか心配です。
- 汚染に対する被害は人間にとってもペットにとっても同じと感じます。避難する場合い被害想定を早くだし、犬猫とも一緒に避難場所にして、すぐに会える近くの仮設施設をつくれれば、飼い主、その他の人の心の安らぎにもなると思う。今の状態ではあまりにも悲惨で後々までも心のわだかまりとして残ります。
- 今回の事故に関して、マイクロチップの必要性を感じました。現実に室内犬室外犬とも首輪に鑑札をつけているのは少数だと思います。まして猫は野放しです。もしもの時、早く飼い主の手元に帰れるようにすべきと感じました。人間はペットを支えていると思っていたのですが、映像を観て、本当はペット、ペットをとりまく方々に支えられているのだと痛感しました。行政も何かメンタル面でも支援できないものかと思います。
- 県、市は野良に対して不妊去勢手術をして欲しい。
- 飼っていた仲間同志での保護が可能かどうか。
- 災害時の救護用のケージやフード、薬品などの備蓄は公的に無いと思いますが、今後の見通しとしてはどうですか。  
\*災害時および避難場所でのフード（餌）の公的な備蓄はありません。また現在のところ将来計画もありません。これまでの阪神淡路大震災、新潟県の中越震災、東日本大震災では、事故後全国から保護動物を維持するのに十分なフードが届きました。日本獣医師会が中心になって、全国的な救護体制が迅速に稼働しています。積極的に連携できるように検討しています。
- 避難生活で伴侶動物にストレスを与えるのであれば、今後は新しい伴侶動物を飼育しない様に考えたい。地震など今後必ずこの地方に起るのでこの子で最後にしたい。
- もし地震津波などの災害が起った時、ペットとはぐれたら、もしくははぐれている動物を発見保護した時、どこにお尋ねするのが一番いいか知りたいです。
- 私の犬は療養用の餌をあたえています、その時々に合わせて餌を購入するため、まとめ飼いや蓄えをしていません。どのくらいあれば、災害時のライフライン復旧までの最低限の量なのか知りたいです。
- できる限り、シェルターではなく、一緒にいたいと思いますが、薬や治療食が手に入るか心配です。
- もし、里親等の所へいったら会わせてもらえるか返してもらえるのか、里親がみつからなければいつまでも保護してもらえるのか。

#### 4. 伴侶動物の管理や飼育上の相談

- 小動物（ウサギくらいの大きさの動物）も犬猫と同じように扱ってもらいたいです。
- モルモットも診療して頂けるとありがたいです。
- 今のところ元気です。ただこれから先、歳を取って問題が起きた時、相談出来る所があればいいと思います。
- 長くお願いしている信頼できる獣医師さんがあり、不安はありません。
- 人には吠えないが、犬をみるとみさかいなしに吠えるので、シェルターに預けられるかどうか不安です。今からどのようにしておけばいいでしょうか。
- 知らない人が近くにくるとかくれてでてこなくなる猫がいます。
- 自分だけが逃げるのはいけないと知りつつも気がとがめる。
- 人間と動物が同じような立場で避難できる準備やスペースをお願いしたい。災害が起きる前に検討することが大切だと思う。
- 動物が放置されている姿をみると涙がでます。絶対に連れていきたい、連れて行きます。
- 犬にも人間と同じ命があります。子供達にも命の大切さを知らせる意味からも絶対に保護施設が必要です。一日も早くお願いします。
- 理想と現実にギャップがありすぎて戸惑う。
- 無駄吠えや、人や犬に吠えるのをやめさせたい。
- 老犬になったので、色々と勉強していければと思います。
- ぜひペットも人間も安心して避難できるシェルターを作ってください。
- たまに野良犬をみかけます。怖いけどかわいそうでつらいです。どうにかしてやりたいと思います。
- このような（本会の救護活動に関する事業）活動、そして現状を知り、すばらしいと思いました。ありがとうございます。

ご協力ありがとうございました。

